

各地の自然災害で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

どこかに 秋の気配はないかと探している

# 8/20 (日) 14:00~ 森繁 昇サマーコンサート Vol.15 入場無料

ハワイ在住のゴスペルシンガー・森繁 昇さんのユーモラスなトークと素敵な歌声を、今年初のセッションでお届けします。爽やかなひと時をお過ごしください♪



森繁さんのオリジナルソングを1曲ご紹介いたします。

「死に勝てる」(抜粋) 作詞・作曲/森繁 昇

いつまで続くか この体	今まだ丘に立つ 十字架は
気持ちは若いと 叫んでも	みんなを救う 神の愛
死には勝てない 死ぬ気でも	心一つで 罪赦されて
病気にや勝てても 死にや敗ける	病気にや敗けても 死にや勝てる

自分で世に出て来たんじゃないが	人には皆 命をかけてやる
死にたくないのは 何故だろう	神の使命が あると言う
いつまでも生きて行きたい気持ち	私も生きたい 神の使命に
何処から やって来たのだろう	教えてください 今すぐにでも

全ての人の罪のために	野に咲く あの花のように
イエスは十字架で命を	空飛ぶ あの鳥のように
捨てて下さった 3日のち	朝に使命を 果たしたら
よみがえられた 死に勝って	夕には飛び去る 天の国

## バンドメンバー



フィドル ジミー・赤澤



ベース ジュニア・野田



ドラムギター マンドリン バンジョー ジロー・国分

## プロフィール

山口県生まれ。大学卒業後、米国テネシー州に渡り、イエス・キリストに出会う。その後、音楽伝道を開始。1986年ハワイに拠点を移す。年間3~5回来日し、各地の教会でコンサートツアーを展開する。

## 教会からのオススメの一冊

「人生に効くサプリメント 聖書のことば240」

フォレストブック編集部編



「こころのごはん 日々をささえる聖書のことば30」

宮 葉子著



(いずれも、いのちのことば社フォレストブック発行)

夏といえば、食欲減衰の季節。毎日毎晩続くような暑さで、ついついおろそかになる食事。でも、そのままでは私たちの身体はボロボロ、ガタガタになってしまいます。食事は身体に必要な栄養を補ってくれるからです。

実は、心も同じです。心に必要な栄養が足りなくなると、私たちの心はボロボロ、ガタガタになってしまうのです。それでは、何が心に栄養を補ってくれるのでしょうか。

「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。」(聖書)

「神の口から出ることば」は聖書に書かれています。聖書を読めば、神様が私たちに何を語っておられるのかがわかります。これが私たちの心を元気にする食事であり、サプリメントなのです。

でも、いきなり聖書はとっつきにくい。どこから読めばいいのかわからない。そんなあなたのために、この2冊をご紹介します。「こころのごはん...」は、読みやすいショートエッセーとともに、また、「人生に効くサプリメント...」は、聖書のことばをシンプルに、「〜なとき」とテーマごとにまとめて紹介してくれます。

最近、なんだか心が、がさがさしませんか? なんだか調子が出ませんか? 壁にぶつかっていますか? 聖書のことばはきっと、そんなあなたの心に深く染みこむことでしょう。そして、きっとまた元気に歩き出す力を与えてくれるでしょう。

ケアプラン  
デイサービス

## オリーブの実

お気軽にお問い合わせ、ご相談ください。

「ケアプラン オリーブの実」 「デイサービス オリーブの実」

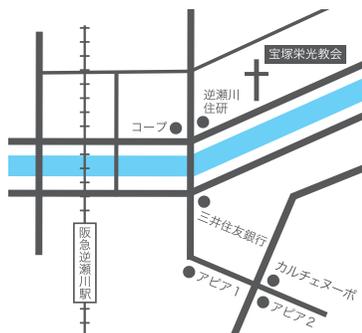
☎: 0797-73-6055 ☎: 0797-73-6077

ケアプラン・デイサービスオリーブの実の

ホームページが新しくなりました!

<http://hp.kaipoke.biz/gev/>

教会ホームページのバナーからもアクセスできます。



## INFORMATION

第2回バザー 11月5日(日) 今からご予約ください。

# 宝塚栄光教会

牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL: 0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com <http://www.takara-eikou.com>

希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。

0797-77-3746

ポッドキャスト

でも配信中心!

ホームページから利用できます。

礼拝 毎週日曜日

10:30~11:40

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



## イエスから目を離さないで

私たちの人生には、平坦な道ばかりではありません。起伏の激しい山道もあれば、一歩踏み外せば、千尋の谷底に転落しそうな険しい道もあります。つらいことや苦しいことがたくさんあります。自分でなんとか頑張っていていこうとしますが、ある程度の所まで来ると、限界に行き当たります。そして、行き詰まり、絶望し、お手上げ状態になるのです。

「苦あれば楽あり、それが人生さ」と達観できればいいのですが、私たち凡人は、やはり苦しみに遭えば落ち込み、嘆き、己の生を呪うことさえするのです。

しかし、聖書には、大きな慰めになる言葉があります。それは、「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。」(ヘブル人への手紙 12章2節)という言葉です。自分の力を振り絞って頑張れ、とは書いてありません。私たちの前を走って行かれるイエス・キリストから目を離さないで、その後について走っていけばよ

い、というのです。失敗をして落ち込んだとき、勤め先や近所付き合いの中で人間関係に疲れるとき、思い通りに事が運ばなくてイライラするとき、あるいは、自分の力の限界を感じて行き詰まるとき、目を上げて、キリストを思い描いてください。

キリストは、私たちの罪のために十字架の苦しみを耐え忍んでくださいました。そして、十字架で死なれたキリストは、三日目に墓の中からよみがえられました。十字架と復活のキリストを信じるなら、私たちはすべての罪から救われ、また死の恐れから解放されます。

神と等しくあられたにもかかわらず、私たちの所にまで下られ、十字架に命を捨てられたキリストは、私たちの弱さや悩みを全部知っていてくださいます。そして、そんな私たちの先頭に立って、走ってくださいます。肩の力を抜いて、このキリストから目を離さず、キリストを仰ぎつつ、走っていきましょう。



「野アザミ — 乗鞍にて —」

何度来ても 暖かく 迎えてくれる  
乗鞍の表情は いつも 気さくで 親切な人を 思わせる  
山にも 登る人間との 相性のようなものが あるのだろうか  
—ノ瀬園を 歩く 朝の高原の 日射しの中  
緑の葉音と共に 風が 吹きぬけて ここちよい

可憐な 野アザミが 目を引く  
アザミの花は 日本中 いや 世界中 さまざまな種類が  
数えきれないくらい 多くあるが  
乗鞍で見つけた 野アザミは  
1m程の莖が すっとのびて その先に 鮮やかな  
赤紫色の花を 一輪 つけている

この時期 夏の終わりと 秋の始まりが 重なりあって  
花は 競いあうかのごとく 咲き連なるが  
この中で 野アザミの 素朴で 飾らない 一輪に  
軍配を あげたくなる  
やさしい花で 慰めの 花だから  
また そのように 生きたいから

お互いに親切にし 心の優しい人となり  
神がキリストにおいて あなたがたを赦してくださったように  
互いに赦し合いなさい

エペソ4章(聖書)